

浜松市 音・かおり・光資源百選

No	分類	資源名称	地域	解説
1	音	遠州大念仏	旧浜松市、 浜北	浜松市の指定無形民俗文化財である遠州大念仏は、浜北地域を中心として遠州地方で伝承されている郷土芸能です。犀ヶ崖資料館など市内各地で広く行なわれ、浜松の盆を彩る風景として、人々に親しまれています。
2	音	天竜川のせせらぎ	旧浜松市、 佐久間	天竜川は諏訪湖に端を発し、伊那谷を南に下り、奥三河、北遠の山間部を通り遠州平野に至り、太平洋に注いでいます。浜松市は、天竜川の最下流部に位置し、広い河川敷を散策すると、緩やかに流れるせせらぎの音が耳に心地よく響きます。特に、佐久間などの北遠地域では、天竜川のせせらぎの音が風によって、川を訪れる人々をやさしく包み、心なやませています。
3	音	JR浜松駅前のコンサート	旧浜松市	世界有数の楽器産業のまちである浜松市は「音楽のまちづくり」を推進しています。浜松市の玄関口となるJR浜松駅の周辺では、「プロムナードコンサート」など、さまざまな音楽イベントが開催され、街中に常に音楽が溢れ、道行く人々を楽しませてくれます。
4	音	滝の水音 (滝沢「仙巖の滝」、佐久間「大下滝」、龍山「不動の滝」)	旧浜松市、 佐久間、 龍山	都田川の支流の源泉部近くにある「仙巖の滝」は、巨石・奇石をぬって流れ、心地よい音を響かせています。新緑や紅葉に映えた水面などの景観はすばらしく、心地よいところです。佐久間の「大下滝」は、標高千メートル近い白倉山系から湧き出す水を集め、数十メートルもの落差のある滝壺へと流れ落ちます。その水音は、周囲のマイナスイオンとあいまって見る者のストレス解消を果たします。龍山の「不動の滝」は、その周辺が公園として整備され、滝をゆっくりと鑑賞しながら雄大な自然を十分に満喫できます。
5	音	馬込川の水鳥の鳴き声と水音	旧浜松市	馬込川の河口付近では、川をさかのぼる「ザザー」という波の音が特徴的です。また、海岸部ではカモメが舞い、下流部は「馬込川サンクチュアリ」としてツバメや水鳥など野鳥たちの貴重な棲みかとなっています。
6	音	楽器博物館のピアノの音	旧浜松市	日本で初めての、そして唯一の公立楽器博物館として、19世紀ヨーロッパの貴重なピアノやホルンをはじめ、アジア、アフリカの楽器、日本の琴や尺八など、世界の楽器1,200点あまりを展示しています。
7	音	森の水車	旧浜松市	緑豊かな田園の中、水車がゆったりと回る…。そんな情景を名曲「森の水車」で美しく表現した作詞家、清水みのる氏は西区伊左地町出身です。伊左地町には水車小屋が復元され、昔と変わらぬ水車の音を「コットン、コットン」と響かせています。
8	音	楽器工場のミュージックサイレン	旧浜松市	ミュージックサイレンは、ヤマハ(株)本社工場に1957年に設置され、以来付近の市民の皆さんに時刻を音楽で知らせています。毎日忙しく過ごす皆さんも時には手を休めて、ミュージックサイレンの奏でる音楽に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。
9	音	笠井町のだるま市の賑わい	旧浜松市	笠井観音の名で親しまれる観光山福来寺で、毎年1月10日に行われる大祭は「笠井のだるま市」としてよく知られています。福だるまをはじめ、縁日屋台がずらりと軒を連ねる「だるま市」は、観音様にお参りする人々とだるまを売る掛け声でごった返し、大賑わいとなります。
10	音	浜北万葉まつり	浜北	浜北万葉まつりは、毎年10月に行なわれ、曲水の池を舞台に、万葉人が雅やかに催した遊びである曲水の宴で自作の歌を詠み、万葉人の雄姿が偲ばれます。また、万葉の森公園では、万葉食や草木染めなどが体験できます。
11	音	懐山のおくない	天竜	毎年1月3日に懐山の泰蔵院で行なわれる民俗芸能で、その年の人々の安全と五穀豊穡を祈る「鬼の舞」「駒の舞」などの演目が上演されます。引佐地域の「川名のひよどり」「寺野のひよどり」とともに「遠江のひよどりとおくない」という名称で国の指定重要無形民俗文化財に指定されています。閑かな山あいの院で催される、鈴や太鼓の音色にとけこんだ荘厳な舞いは、いにしへの生活文化・民族文化を心に刻み込みます。なお、国立民族博物館(佐倉市)にお面のレプリカが展示されています。
12	音	舞阪大太鼓祭り	舞阪	豊漁と海上安全を祈願する岐佐神社の祭礼で、旧暦の9月14日と15日に開催されます。太鼓は最大直径2.5mのものもあり、神社境内で一斉に打ち鳴らす音は一里四方に響き渡ります。
13	音	今切口に於けるシラス漁に出漁する漁船団の音	舞阪	朝もやの中、シラス漁に出漁するため何十隻もの船が競い合っ出て出漁する時の音は圧巻です。
14	音	息(おき)神社祭典の練り太鼓の音と提灯の明かり	雄踏	雄踏地域に伝わる祭典で、毎年10月10日に近い土曜日と日曜日に息神社の神社境内に中老の太鼓8台と、館車と呼ばれる屋台6台が集合し、町内を練り歩きます。一番華やかな屋台は、金館車と呼ばれ、彫刻は江戸時代の後期のものとされています。館車の提灯の灯りの美しさと太鼓の音の迫力は、歴史ある祭典の壮大さを実感できます。
15	音	亀崎ファミリーランド	雄踏	雄踏地域西端の浜名湖に接した恵まれた自然景勝の地にあるこの公園には、プールやテニスコートの他、ソフトボール場、多目的スポーツ広場、芝生公園があり、1年を通じて利用客の楽しい歓声で賑わっています。
16	音	姫街道	旧浜松市、 細江、三ヶ日	東海道の裏街道として豊川市御油より磐田市見付までの間、お姫様が江戸に上がるために使われた道として伝えられています。自然に囲まれた姫街道の石畳を散策すると、石畳を歩く音、踏みしめる枯葉の音、澄みきった小鳥のさえずりが響きわたり活力がわいてきます。
17	音	龍潭寺の鶯張りの廊下	引佐	本堂の「鶯張り」の廊下は、歩くとうグイスの鳴き声のように聞こえ、小堀遠州作と伝えられる庭園と見事に調和しています。庭園は、国の指定名勝に選ばれています。
18	音	いなさ人形劇まつり	引佐	全国から30以上のプロ・アマ劇団が集まる全国有数の人形劇の祭典。毎年11月開催の祭り期間中は、劇団の台詞や音響に加え、観劇する人々の歓声が溢れます。
19	音	大福寺時計台	三ヶ日	昭和5年1月道路横に建立され、通り過ぎる人々に時を知らせています。時計台には人は一生懸命働くことが書かれています。
20	音	明神峡の渓谷と紅葉	春野	気田川の上流部に6kmほど続く美しい渓谷で、巨石が川の流れる音は心地よいです。また、秋には、渓谷一帯を染めるカエデやブナなどの紅葉がすばらしい景観を見せます。

浜松市 音・かおり・光資源百選

No	分類	資源名称	地域	解説
21	音	勝坂神楽の里	春野	平成7年に静岡県都市景観賞を受賞したとても静かな山里です。サワガニや水生昆虫が捕れる入地沢、クワガタやカブトムシに出会える森林、ハイキングコースなどがあり、どこか懐かしい景観に心が満たされます。また、毎年10月下旬には、400年の伝統を誇る地域色豊かな祭り「勝坂神楽」(五穀豊穡、子孫繁栄、武運長久などを祈願し、笛や太鼓の音にあわせた男子に限られた神楽舞)が行なわれています。
22	音	気田川のせせらぎとセミや小鳥の鳴き声	春野	気田川のせせらぎや清らかな水の流れる、人々の心に安らぎを与えてくれます。夏場の、セミや小鳥の鳴き声をBGMに川遊びをする子供たちの賑わいは、アウトドアの楽しさと醍醐味を実感させます。そんな気田川を守るため、春野地域では、住民が一丸となって「日本一きれいな川のまちづくり」をめざしています。
23	音	佐久間の川合花の舞	佐久間	鎌倉時代から伝わる湯立ての神楽の一種で、天竜川や三河地方に多く伝承されている県の指定無形民俗文化財です。真っ赤な装束で「まさかり」を持った「山見鬼」や「神鬼」などが勇壮に乱舞する姿は、見物客を魅了します。毎年、10月最終土曜日の夕方から未明にかけて川合八阪神社で奉納されます。
24	音	秋の祭典をリードする獅子舞とお囃子の音	佐久間	秋祭りの頃、佐久間地域のそこかしこから聞こえるお囃子と獅子舞のかけ声は、故郷の音として地域の人々に愛され、親しまれると共に、都市との文化交流の要の役割を担っています。
25	音	天竜の森に響くウィーンの調べと飛龍太鼓の音	佐久間	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団バストロンボーン奏者であるカール・ヤイトラー氏との交流により佐久間地域に根付いたウィーンの音楽と飛龍太鼓の音。音楽のまち浜松で佐久間が誇れる音です。
26	音	水窪川とそこに生息するカジカガエル	水窪	天竜川の支流で一級河川の水窪川。豊かな清流に恵まれた水窪川は、夏季には釣り人やヤマメのつかみ取りで賑わっています。また、その清流に住むカジカガエルは、灰褐色の地味な体の色とは対照的に、大変美しい声で「ヒューヒューヒュー…」と鳴きます。
27	音	切通し峡と布滝	水窪	河内川の両岸に切り立った巨石が屏風のように立ち並び、自然の脅威を感じます。耳をすませば、足元の清流が岩に砕ける音が聞こえ、自然の恵沢を享受できます。また、美しい女性的な布滝からは、岩肌を清らかに水が流れる清音が聞こえ、心洗われる思いです。
28	音	瀬尻ぶか風の発するうなり	龍山	瀬尻「ぶか風」(武家風)は、鶴亀などの縁起物を角絵(すまゑ)として描き、「くじら」と呼ばれる鳴り物をつけて揚げるのが特徴です。形は横長の長方形で、骨は竹を用い、どんなに大きくても4本だけでできています。ぶか風が、天竜川から吹き上げる風を受けて「くじら」のブーンという「うなり」とともに勢いよく大空に揚がる姿は、龍山地域の6月の風物詩となっています。
29	音	森林文化会館のパイプオルガンの音色	龍山	龍山町瀬尻の龍山森林文化会館ホールにはドイツ製のパイプオルガンが設置されています。このオルガンは誰でも気軽に触れることができるため、地域の小中学生や一般市民が折りに触れ弾いています。天竜林業地域の真っ只中にあり、木の楽器の象徴ともいえるパイプオルガンは、多くの人に愛され、龍山地域が育ててきた森林文化を奏でています。
30	音	白倉峡のせせらぎ	龍山	白倉山を源に天竜川へ注ぐ清流に刻まれた渓谷は、若葉が萌える新緑、あでやかな紅葉と、移り行く季節と共にその姿を変えます。紅葉は11月中旬から下旬が見頃です。
31	かおり	浜松のうなぎ	市内全域	浜松は、うなぎ養殖発祥の地です。市内には多くのうなぎ料理店があり、のれんの向こうから漂う「うなぎを焼くかおり」は、浜松を象徴するかおりの一つであり、環境省による「かおり風景100選」に選定されました。
32	かおり	彼岸の線香のかおり(鴨江)	旧浜松市	鴨江観音として親しまれる甲江山鴨江寺は、行基により奈良時代に創建された歴史ある名刹です。彼岸の「お鴨江まいり」の賑わいと線香のかおりが、古風なたたずまいを見せる鴨江の街並みに漂います。
33	かおり	フラワーパークの花	旧浜松市	総面積30万㎡、東京ドーム6個分の広大な敷地に四季の花壇や、170品種を誇るローズガーデン、100万本のハナショウブ園、15,000株の原種ツツジ園をはじめ、シャクヤク園、サクラ園、アジサイ園、鑑賞大温室など、花を身近に観賞できる施設がいっぱいです。
34	かおり	フルーツパークの果物	旧浜松市	はままつフルーツパークは、世界のフルーツをテーマにした「四季香るフルーツワールド」です。総面積43万㎡、東京ドーム9個分の広大な敷地に、果樹園、栽培温室、トロピカルドームなどが建てられ、160種4,300本の様々なフルーツを四季を通じて楽しめます。
35	かおり	風作りの竹のかおり	旧浜松市	遠州の空っ風と呼ばれる強風が吹く浜松は、気候的にも風揚げに好条件であり、古くから風揚げの歴史があります。浜松風は複雑かつ芸術的な骨組みと、天高く揚がってもハッキリと分かる、各町が工夫を凝らしたデザインが特長です。風作り職人の作業場では、みずみずしい竹のかおりが溢れ、まつりへの期待がいやがうえにも高まります。
36	かおり	都田道のモクレン	旧浜松市	都田道(市道萩丘都田線)の沿道には、ハクモクレンが植えられています。春先、沿道一帯は見事な眺めとなり、かおり立つような清々しい雰囲気包まれます。都田道はいつしか「モクレン通り」と呼ばれるようになりました。
37	かおり	庄内半島の花とガーデンパーク	旧浜松市	庄内半島は、浜名湖周辺の温暖な気候を活かした花き栽培が大変盛んです。収穫時のビニールハウス内からは花のかおりが漂ってきます。その中で浜名湖ガーデンパークは、2004年の「浜名湖花博」開催後、湖畔の美しい自然と開放感あふれる景観で、緑豊かな都市公園として整備され、憩いの場となっています。
38	かおり	J&Aとびあ浜松浜北営農緑花木センター	浜北	庭園木、盆栽、観葉植物等をはじめ、庭園用資材など3千種類、31万本の植木を展示、販売している、みどりのデパート。年間を通して四季折々の美しい花木を手にとって選ぶことができます。毎年、春と秋に「植木まつり」が開催され、多くの人で賑わいます。
39	かおり	北浜の大カヤノキ	浜北	イチイ科の常緑針葉樹であるカヤノキは、庭木や公園樹として植えられることが多く、材は高級書盤や建築、彫刻などに用いられます。本沢合にある北浜の大カヤノキは、高さおよそ23m、目の高さでの幹回りがおよそ5.4mで、日本有数の大きさを誇り、国の天然記念物に指定されています。

浜松市 音・かおり・光資源百選

No	分類	資源名称	地域	解説
40	かおり	二俣城址	天竜	戦国時代に争奪が繰り返された要衝の地で、天正7年(1579年)に徳川家康の長男、松平三郎信康が自刃したという悲劇が伝えられています。現在は、高さ4.6mの天守台の石垣や土塁が残されていて、激動の時代に翻弄された人々に、思いをはせながら周辺を散策することができます。戦国武将の吐息を感じる空間です。
41	かおり	舞阪混ぜのりのかおり	舞阪	冬の浜名湖で育まれたのりは、かおり高いのが特徴です。黒のりと青のりを混ぜた「混ぜのり」が人気です。
42	かおり	舞坂宿脇本陣	舞阪	今切渡しの渡船場として栄えた舞坂宿の脇本陣を復元したものの。その遺構は旧東海道では唯一のもので、歴史のかおりが感じられます。
43	かおり	釜揚げしらすのかおり	舞阪	遠州灘は、イワシの稚魚シラスの全国有数の漁場です。春から秋にかけては、舞阪漁港で水揚げされ加工されたシラスのかおりがまちに漂います。
44	かおり	六間川の早咲き桜	雄踏	六間川の堤防には早咲きの桜並木が1キロメートル程続き、冬から春への季節の移り変わりを桜のかおりとともに私たちにいち早く伝えてくれます。
45	かおり	中村家住宅	雄踏	貞享5年(1688年)の建築とされている武家屋敷です。約3,000㎡の敷地内にある寄棟造萱葺の平屋建てで、主屋は国の指定重要文化財です。徳川家康の側室お万の方が家康の第二子である結城秀康をここで出産したといわれています。
46	かおり	気賀関所	細江	慶長6年(1601年)に徳川家康の命により設置されたという気賀関所は姫街道の重要な位置にありました。復元された冠木門、本番所等では、通行人の監視にあたる往時の様子が伺え、歴史のかおりが漂っています。
47	かおり	長楽寺の満天星(ドウダンツツジ)の庭園と梅のトンネル	細江	小堀遠州作、回遊式の庭で200余株のドウダンツツジが植え込まれ四季折々に表情を変え1年を通じ楽しめます。また、3月には、梅のトンネルからほのかなかおりが漂ってきます。庭園は、県の指定名勝に選ばれています。
48	かおり	渋川つつじ	引佐	蛇紋岩地帯に群生するツツジの一種で、群落は県の天然記念物に指定されています。新緑から青葉に移り変わる5月下旬に赤紫色の可憐な花が咲き、そのかおりは、公園を訪れる人を和ませてくれます。
49	かおり	みかんの花	三ヶ日	三ヶ日みかんは、全国的に有名です。みかん畑が多く、みかんの花が咲く5月中旬ごろには、どこからともなく、さわやかなみかんの花のかおりが漂います。
50	かおり	マンサクと三ヶ日桜の咲く里 平那の峯	三ヶ日	春の訪れを告げる黄色い可憐な花マンサクが咲き、その後を追うかのように三ヶ日桜が咲き誇ります。
51	かおり	三ヶ日人只木遺跡	三ヶ日	三ヶ日地域は、水辺となだらかな丘陵に囲まれ、温暖な気候と浜名湖がもたらす自然の恵みの中で、遠い昔から人類が発展し続けてきました。その証を三ヶ日人只木遺跡で見ることができます。旧石器時代の存在を確認した貴重な遺跡にロマンのかおりが漂います。
52	かおり	京丸のツツジの群落	春野	京丸の岩岳山山頂付近一帯には、ミヤマツツジが群生しています。平家の落人の里といわれる秘境、京丸の谷にはアカヤシオツツジ、シロヤシオツツジが咲き乱れ、国の天然記念物に指定されています。そのため、開花時期には春野地域一帯がピンク色に染まります。岩岳山のように樹齢数百年の古木が群落をなしているのは、他に例を見ないといわれています。
53	かおり	春は新緑、夏は鮎、秋はキノコ、冬は蕎麦のかおり	佐久間	深い霧、輝く川面、紅葉そして粉雪が舞う山里に暮らす人々の生活文化と四季折々のかおりが都会の人々を誘い、都市と山村を結ぶ架け橋となっています。
54	かおり	佐久間民俗文化伝承館	佐久間	江戸時代末期の建物を移築したもので、昔の催事の飾りなどが展示されています。佐久間地域に伝わる民話の語りを聞きながら、郷土料理の地そばなども楽しめます。
55	かおり	高根城	水窪	南北朝時代、後醍醐天皇の孫の親王を守るために、応永21年(1414年)に奥山氏が築いたとされる山城。三方原合戦の時には、武田軍の拠点となったといわれ、現在では、城門などが復元されています。
56	かおり	新茶のかおり (春野、佐久間、龍山)	春野、佐久間、龍山	北遠一帯は、風薫る5月の新茶シーズンには、お茶のかおりに包まれます。赤石山脈から湧き出る水と天竜川から立ち上る川霧など、様々な自然の恵みによって育成されるお茶は、この地域特有の豊かな味とかおりを育みます。市内のお茶農家では、これらの特性を大切にするとともに、有機栽培などの農法によってより安全で安心な茶生産に取り組んでいます。
57	光	浜名湖の湖岸から望む夕日 (村櫛・館山寺、細江「みをつくし」、三ヶ日「瀬戸のつり橋」)	旧浜松市、細江、三ヶ日	村櫛半島西岸や館山寺周辺からは、浜名湖や湖西連峰の向こうへ沈む夕日を望むことができます。湖面のさざなみが夕日にきらめき、夕焼けが湖面を照らして一番星が輝き始めるまでの時間は、浜名湖が一日で最も美しい色に染まる贅沢な時間です。万葉集にも詠まれている細江の「みをつくし」は、浜名湖に陽が沈むそのひと時、夕日に映えた姿が、万葉の昔を偲ばせます。また、夕日に映し出される浜名湖瀬戸のつり橋は、周辺の自然と調和し、絶妙な景観を醸し出します。
58	光	夜空に浮かぶアクトシティ	旧浜松市	浜松駅に隣接するアクトタワーは、地上45階、212.8mと東海地方屈指の高さを誇り、ホテル、レストラン、ショッピングモールなどで構成され、浜松のシンボルとして、また、ランドマークとしてそびえ建っています。
59	光	街角を照らす冬の蛍	旧浜松市	冬季には、中心市街地の活性化を目的とした市民・企業・行政の協働による市民参加型の大規模集客イベント「はまつ冬の蛍フェスタ」が開催されます。会場の中心市街地は、JR浜松駅北口前のギャラリーモールに設置されるシンボルツリーをはじめとした様々なイルミネーション等の「光」で幻想的に彩られます。
60	光	天文台から見る星	旧浜松市	浜松市天文台は、市民が宇宙の神秘を身近に体験できる施設として、五島公民館に併設された公開天文台です。月や惑星、星雲星団など、大型屈折望遠鏡による迫力ある天体の姿は必見です。
61	光	光産業の礎「イ」の石碑	旧浜松市	浜松高等工業学校の助教授だった高柳健次郎氏が、1926年、世界で初めて電子式テレビジョンの開発に成功しました。歴史が動いたその一瞬を記念するため、最初にブラウン管に映し出した文字「イ」の記念碑がNHK浜松支局と西部公民館に建立されています。

浜松市 音・かおり・光資源百選

No	分類	資源名称	地域	解説
62	光	篠原町の火渡り	旧浜松市	篠原町の保泉寺において、毎年1月18日、遠州・三河・信州の各地から修行者が集まって火伏せの行が実施されます。法螺貝が鳴り響き、立ち上る炎の中、白装束の修験者を筆頭に、参加者が次々と護摩壇を渡って一年の願をかけます。
63	光	秋葉灯籠	市内全域	市内各地に残っている秋葉山信仰の灯籠です。多い地区では辻ごと、社ごとに設置され、工夫を凝らしたデザインは風情にあふれるのみならず、貴重な歴史文化遺産です。
64	光	浜名湖 湖面の輝き (館山寺大草山、姫街道いなさ峠)	旧浜松市、細江	館山寺温泉街からロープウェイで登る大草山からは、浜名湖が一望できます。風になびくさざ波、マリンスポーツ、漁船が描く航跡が、降り注ぐ光を浴びて美しく輝きます。また、姫街道いなさ峠付近からの浜名湖(引佐細江湖)の眺望は、大変素晴らしく箱庭のようです。朝日・夕日に輝く湖面に心を洗われる思いがします。
65	光	水辺に映る蛍の光 (天竜「蛍の里」、細江「天池自然公園」、春野「藤ノ瀬ホタル公園」、龍山「ふるさと村」、引佐町田沢)	天竜、細江、春野、龍山、引佐	水質汚濁や河川工事の影響を受け、蛍を見ることが難しい時期もありましたが、市民の熱心な保護活動により、次第に市内各地で見ることができるようになりました。特に、西阿多古川沿いの「蛍の里」や細江の「天池自然公園」、春野の「藤ノ瀬ホタル公園」、龍山の森林レクリエーション施設「ふるさと村」周辺の川岸などでは、初夏には多くの蛍が飛び交い、夜のひとときを幻想的な世界へと導いてくれます。また、引佐町田沢は、蛍の町として知られ、学校をはじめ、地域住民が協力し合って蛍を育てています。
66	光	鳥羽山公園の桜	天竜	天竜奥三河国定公園にあり、桜の名所として知られる市民の憩いの場「鳥羽山公園」では、開花した桜の輝きが山一面をピンク色に染め、訪れる人々や市民の目を楽しませてくれます。ここ天竜に春の訪れを知らせる風物詩です。また、戦国時代に徳川家康が本陣を構えて武田方と戦った城跡で、山全体に人の手が増えられた跡が残っています。
67	光	大栗安の棚田	天竜	中山間の傾斜地を利用して段々に作られた水田の景色は、数少なくなった田園風景です。ここ大栗安の棚田は、日本の棚田百選にも選定されています。水田に燦爛と降り注ぐ太陽の光はまぶしく、初夏には蛍が飛び交い、初秋には黄金色に染まった稲穂が一面に広がる絶景に巡り会えます。
68	光	弁天島浮見堂	舞阪	乙女園の西側に作られた棧橋とあずまやが浮見堂と名付けられ、市民の休息の場として親しまれています。茜色に染まる夕景はとてロマンチックです。
69	光	舞阪灯台のあかり	舞阪	遠州灘を航行する船舶の安全を守る灯台の光。光達距離は約30kmあり、沿岸灯台として、重要な役割を果たしています。
70	光	たきや船の松明のあかり	雄踏	小舟の舳先に松明のあかり(現在は水中灯)をともし、その光の中に浮かんでくるエビ、カニ、タイなどの魚を網やモリで突いて捕らえる伝統的な漁。素朴な、そしてスリルに富んだ漁は、観る者を幻想的な世界へ誘います。
71	光	姫様道中	細江	毎年、4月の第1週の土曜日と日曜日に開催される姫様道中は、桜が舞い散るなか、江戸時代の姫街道の往時を絢爛豪華に再現しています。お姫様を中心に百数十人が繰り広げる歴史絵巻は、奥浜名湖に春を告げる代表的な行事となっています。
72	光	方広寺参道の木漏れ日	引佐	方広寺の境内は静寂に包まれ、杉の大木から洩れる光は幻想的で、本堂や三重の塔は、光のみが成すことができる絶妙な味わいを見せます。
73	光	奥山公園の夜桜	引佐	春には奥山公園とその周辺の桜が咲き乱れ、艶やかな景観を誇ります。最盛期には公園内がライトアップされ夜桜も楽しめます。特に、ライトアップされた桜と公園内の池の反射光は見事で一見の価値があります。
74	光	三ヶ日町内のイルミネーション	三ヶ日	毎年年末に、三ヶ日地域の一般家庭、商店等でイルミネーションフェスタが行なわれ、町中がいろいろな色に飾られます。
75	光	秋葉の火祭り	春野	昔から火防信仰を集めた霊山秋葉山です。太古より秋葉神社と秋葉寺が存在し、秋葉神社では、毎年12月16日の夜、弓の舞、剣の舞、火の舞などが行なわれ、秋葉寺では、同月15日と16日の両夜、火渡りの儀式が催されます。ともに、秋葉の火祭りとして賑わい、今も県内外から多くの参拝者が集まります。
76	光	春埜杉	春野	行基が開山したと伝えられる春埜山山頂の大光寺境内には、樹齢1,300年と伝えられる高さ44mの大杉があります。県の指定天然記念物で、杉の大木から洩れる光は幻想的です。
77	光	浦川歌舞伎	佐久間	江戸時代の音羽屋一座の歌舞伎役者尾上栄三郎が地方巡業に出て倒れ、診療に訪れた浦川地区で最期の舞台を演じたというのが発端となって、村人による歌舞伎が演じられるようになったといわれています。それが定着して受け継がれているのが浦川歌舞伎です。
78	光	満天の星空 (天竜の森公園、水窪カモシカと森の体験館)	佐久間、水窪	近年、都市化に伴って、主に街の明かりによって星が見えにくくなっています。しかし、標高1,352mの龍頭山にある「天竜の森公園」や標高約1,100mの家老平にある「水窪カモシカと森の体験館」などでは、今もなお美しい星空を見ることが出来ます。満天の星空を仰ぎ見る贅沢を味わってみてはいかがでしょうか。
79	光	西浦田楽 御船渡しの火	水窪	旧暦の1月18日に、月の出から翌日の日の出まで、夜を徹して幻想的な仮面の舞が繰り広げられる西浦田楽。国の指定重要無形民俗文化財に指定されており、御船渡しが行なわれ、観音堂の燈明から御船に火を移し、御船が引かれて「タイ」に登り火が点じられます。この火はまさに神秘的で、見る者の心をいにしえへととぎやしません。
80	光	光に映える燃え立つ紅葉(山住神社～水窪ダム)	水窪	岩と粘土を積み上げた日本で数少ないロックフィル式の水窪ダム。このダム湖は、ワカサギ、コイ、ヘラブナ釣りの名所として大人気のスポットで、湖面を差す太陽によるきらめきは、幻想的です。また、秋には、真っ赤に燃え立つ山が迫り、都会にはない勇壮な景観を身近に体験できます。
81	音・かおり	岩水寺の鐘の音、桜のかおり	浜北	長い歴史のある真言宗の古刹であり、桜の名所として親しまれている岩水寺の境内に咲く100本を超えるソメイヨシノは、夜ライトアップされます。また、岩水寺は、安産の寺としても知られ、そこでつく鐘の音は、心にしみる風情を感じます。
82	音・光	浜松まつり/激練り、凧揚げの音と御殿屋台の光	旧浜松市	浜松の街がもっとも熱くなる「浜松まつり」は毎年5月3日から5日に開催されます。昼間は勇壮な「凧揚げ合戦」、夜は「御殿屋台の引き回し」で盛り上がり、市内は祭り一色に染まります。一年中もっともエキサイティングな浜松に出会えます。

浜松市 音・かおり・光資源百選

No	分類	資源名称	地域	解説
83	音・光	遠州はまきた飛竜まつり	浜北	天竜川の水の神である竜神にちなんで毎年6月に開催される浜北地域の大イベント。大空に勇壮な風が舞い、ミスコンテスト、飛竜太鼓や特産物の販売が行なわれます。天竜川中瀬の緑地の会場では「火まつり」が行なわれ、打ち上げ花火が夜間に咲いて盛り上がります。
84	音・光	清流 阿多古川	天竜	天竜地域の北西部を緩やかに流れ、天竜川に注ぐ清流阿多古川。夏には、釣りやキャンプ、川遊びで大変な賑わいをみせています。秋には、絶好のハイキングコースとなり、色とりどりの紅葉も楽しめます。川面はやさしいせせらぎの音を奏で、木々の彩りを映し出します。そして浅瀬は太陽の光がきらめき、淵の鮮麗な深緑色は、訪れた多くの人々の感動を呼び起こします。
85	音・光	遠州天竜舟下り	天竜	本格的な春の訪れとともに「遠州天竜舟下り」が天竜川に賑わいを呼び込みます。舟下りは、雄大な天竜川の流れに乗り、米沢(みなざわ)から阿蔵までの6kmを約50分かけてゆったりと下る爽快な舟の旅です。大河を下る水の音と櫓のきしむ音、そして木々の緑と水面の輝きが心を洗い、雑踏から開放された清々しいひとときを過ごすことができます。
86	音・光	祇園祭り/細江の夏の風物詩	細江	毎年7月第3週の土曜日と日曜日は、細江地域の夏を彩る「祇園祭り」が賑やかに行なわれます。鳴り響く笛太鼓のお囃子、妖しげにも美しく輝く提灯の火など、情緒あふれるシーンが、そこかしこに繰り広げられます。
87	音・光	竜ヶ岩洞の黄金の大滝	引佐	洞内の落差30mの地底滝は国内最大級。黄金色に輝く水しぶきと洞内に響きわたる滝の音は、太古から続く地球の鼓動を感じさせます。
88	音・光	横尾歌舞伎	引佐	200年以上の歴史を誇り、県の指定無形民俗文化財に指定されている農村歌舞伎。10月の定期公演では、きらびやかな衣装に包まれた舞台上に義太夫、三味線の音や役者への掛け声、おひねりが入り混じり、農村歌舞伎ならではの風情をかもしだしています。
89	音・光	川名ひよんどり	引佐	500年以上も前から伝承されている国の指定重要無形民俗文化財。毎年1月4日に八日堂で行なわれています。堂入り口での水垢離を終えた若者と、赤々と燃え盛る大松明をかざした松明奉納者とのみみ合いは勇壮です。室内では、10種の舞が奉納され、笛や太鼓の音が冷気漂う集落に響きわたります。
90	音・光	寺野ひよんどり	引佐	神楽・田楽系の民俗芸能で、500年以上前から伝承されている国の指定重要無形民俗文化財。毎年1月3日に豊作を祈願し、三日堂で行なわれています。なかでも松明の炎を鬼が打ちたく「鬼の舞」は勇壮です。裸電球のともる室内から、笛や太鼓が静かな山里に響きわたります。
91	音・光	花火の音と光 (弁天島、館山寺、鹿島、三ヶ日、佐久間)	旧浜松市、天竜、舞阪、三ヶ日、佐久間	市内各地では、花火シーズンの先頭をきって弁天島花火大会を皮きりに、館山寺、鹿島、三ヶ日、佐久間など、各々の地域を代表する花火大会が盛大に開催され、夏の風物詩になっています。これらの花火大会では、美しい花火の輝きを満喫できるだけではなく、いずれの地域においても独特の響きがあり、天地を揺るがす迫力を全身で体感できます。
92	かおり・光	浜松城公園 / 桜、松韻亭の抹茶のかおりと浜松城のライトアップ	旧浜松市	浜松城公園は、徳川家康ゆかりの名城、浜松城の天守閣を中心に整備された緑あふれる都心のオアシスです。春になると公園全体が桜に包まれ、かぐわしいかおりの中、大勢の花見客で賑わいます。また、公園の一角には茶室「松韻亭」が開席され、気軽に訪れ、お茶を楽しむことができます。
93	かおり・光	県立浜北森林公園	浜北	215haの県立浜北森林公園は、吊橋「空の散歩道」、宿泊・研修施設「森の家」をはじめ、キャンプ場、親水広場、遊歩道などの様々な施設を備えた自然公園で、四季折々の自然とふれあうことができます。
94	かおり・光	浜北万葉の森公園	浜北	300種類もの万葉植物が取り囲む静寂とやすらぎに満ちた公園。万葉に関する資料を展示する万葉資料館などもあり、万葉文学、万葉文化に親しむことができます。また、浜北ゆかりの歌が4首詠まれています。
95	かおり・光	秋野不矩美術館	天竜	浜松市名誉市民で文化勲章受章日本画家・秋野不矩の作品を収集展示する美術館です。建物の外壁とホールに柱には地元天竜杉を、内壁には、わら入り漆喰を使うなど自然素材をふんだんに取り入れた美術館として知られています。館内に入ると、ホールには杉柱のかおりが漂い、差し込む自然光が時間とともに変化するコントラストを楽しむことができます。この美術館は、秋野不矩の創作に対する精力的な探求心とともに、市民ギャラリーとして市民の創作活動が息づいています。
96	かおり・光	都田川堤防の桜並木	細江	都田川堤防のおよそ1kmの桜並木が花開くとき、多くの市民がここを訪れ、穏やかな春のひとときを満喫していきます。また、ライトアップされ夜景に映し出される桜と、そのほのかなかおりが心地よく心身を癒してくれます。
97	かおり・光	細江中川地域の田園風景	細江	初夏には、まばゆい日差しの中、緑の風が大きな波となり田園を走っていきます。秋には、黄金色に輝く稲穂が実りの喜びをうたいます。まさに稲作文化の代表的な景色であり、いにしえのかおりがここにありま。
98	音・かおり・光	遠州灘 / 海鳴り(波小僧)、ウミガメのはう音、潮のかおり、朝日、夕日、水面の輝き	旧浜松市、舞阪	「遠州灘」とは、御前崎から伊良湖岬までの約110kmの海岸とその沖合いの海域を指します。このうち浜松市にあたる部分は中田島砂丘を中心として美しく広大な砂浜が広がっています。一帯では、海の音、潮のかおり、風紋や海面の輝きなど、さまざまな音・かおり・光が私たちを楽しませてくれます。
99	音・かおり・光	佐鳴湖 / 葦がこすれる音、鳥の声、花、木のかおり、夕日、水面の輝き	旧浜松市	佐鳴湖は、中心市街地からわずか4kmのところにある湖です。湖岸には公園が整備されており、市民の憩いの場であるとともに、周辺を囲む森にはさまざまな動植物が生育・生息しており、都市部に残る貴重な自然でもあります。
100	音・かおり・光	天竜美林	天竜	天を突き刺すように「きりっ」と、そして「まっすく」に伸びる天竜美林は、大自然の中に溶け込んだ人間の作り出した美の象徴です。美林はただただ凛凛しく、美林を通り抜ける風は、命の息吹のかおりを感じさせます。また、風に揺れる木々の音はやさしく、そして木漏れ日の清々しさは我を忘れさせ、一服の清涼を与えてくれます。